

ぐるり39

～自治調査会だより～

2017
10

NO. 049

[発行日]
2017.10.1



【写真提供】あきる野市 【撮影場所】石舟橋

- ▶ 愛らんどリーグ 2017 が開催されました…………… 2
- ▶ オール東京 62 市区町村共同事業
 - みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介… 3
 - 武蔵野市 市制施行70周年記念事業 第10回むさしの環境フェスタ
 - 三鷹市 エコミュージカルとエコイベント
 - 日の出町 みどりのカーテン普及キャンペーン
- ▶ 多摩地域ごみ実態調査（平成 28 年度統計）を発行しました… 4
- ▶ 平成29年度広域的市民ネットワーク活動支援制度申請団体募集中!!… 6
- ▶ 広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介…………… 7
 - ひのはらの魅力発見！ 払沢周辺クイズチャレンジ！！
 - 山のふるさと村音楽祭 in OKUTAMA
 - 車いすのひとと高尾山に登ろう
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座10・11月開催予定の講座案内… 8
 - ・東京雑学大学 11 月講義案内…………… 8
 - ・TAMA 市民塾・日曜講座のお知らせ…………… 9
- ▶ 編集後記…………… 9
- ▶ とっておきスポット～ “ココ” で存じですか?～あきる野市…… 10

Contents

10月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

島しょ地域の子どもたちによるフットサル大会



愛らんどリーグ2017 が開催されました

(公財)東京市町村自治調査会協賛事業の、島しょ地域の子どもたちによるフットサル大会「愛らんどリーグ2017」が、平成29年8月5日(土)・6日(日)の2日間、東京都八丈町で開催されました。

愛らんどリーグは、伊豆諸島・小笠原諸島の少年少女たちが、フットサル大会等を通して相互の交流を深めることを目的に、平成6年から毎年開催されています。24回目となる今年度は、都内島しょ地域の全9町村11島12チームの子どもたちが参加し、交流を深めました。

大好きな島をPR! 「島じまん発表会」

大会前日は、「八丈町多目的ホール・おじゃれ」において、「島じまん発表会」と翌日からの「フットサル大会」の予選リーグの組合せ抽選会が行われました。

「島じまん発表会」では、各島の子どもたちが決められた時間の中で、島の魅力や特徴を紹介しました。どの島のチームも創意工夫を凝らしており、会場は大いに盛り上がりました。



▲島じまん発表会の様子



▲白熱するフットサル大会

島を背負って大奮闘! 「フットサル大会」

大会当日、最初は緊張した面持ちの子どもたちでしたが、プロトレーナー 木場克己氏による体幹トレーニングや、FC東京コーチ陣によるサッカー教室で体を動かしているうちに、自然と笑顔がこぼれました。

試合が始まると、きれいに整備された天然芝のグラウンドで、子どもたちは一生懸命にボールを追っていました。

最後まであきらめずに戦う子どもたちの姿に、各チームの保護者やコーチ、各島の町長・村長などから、大きな声援が送られました。

大会結果

フットサル大会

1位	坂下FC	八丈島
2位	大島マリズFC	大島
3位	父島キッカーズ	父島

島じまん発表会

最優秀賞	スール青小サッカークラブ	青ヶ島
優秀賞	FC toshima tsubakids	利島
優秀賞	坂上FC	八丈島



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれん



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ



1 武蔵野市

市制施行70周年記念事業 第10回むさしの環境フェスタ

Tama

武蔵野市

むさしの環境フェスタは、来場者とイベントに関わる参加者全てが、環境に配慮した行動、暮らしについて考えるイベントです。

今年は開催第10回目、また市制施行70周年を記念した特別企画として、廃食用油で走る「天ぷらバス」の試乗会や、来場者参加型の展示物「環境の本」などを実施します。開催場所も今年4月に本格稼働したばかりの武蔵野クリーンセンターに移り、今年の環境フェスタは今までとはひと味違います！

開催日は11月12日(日)です。どなたでもご参加いただけますので、皆様のご来場をお待ちしております。

【問合せ先】武蔵野市 環境政策課 TEL:0422-60-1841



2 三鷹市

エコミュージカルとエコイベント

Tama

三鷹市

6月25日(日)に三鷹市公会堂で、みたか環境活動推進会議と三鷹市の協働により、「エコミュージカルとエコイベント」を開催しました。エコミュージカルは「ようかいエコロジーウォーズ」を上演し、当日は659人の親子連れが来場しました。

ミュージカルには、オーディションで選ばれた市内在住の小学生47人が出演し、歌と踊りでエコ活動への想いを伝えました。また、来場者は、エコミュージカル上演前に開催されたエコイベントで作ったエコ楽器を鳴らして、ミュージカルを盛り上げました。

舞台と客席が一体となって楽しみながら、環境について考えることができました。

【問合せ先】三鷹市 環境政策課 TEL:0422-45-1151



3 日の出町

みどりのカーテン普及キャンペーン

日の出町

Tama

日の出町では、家庭でできる地球温暖化防止を目的に、4月26日(水)～27日(木)にゴーヤ苗の配布を行いました。家の窓辺につる性植物を這わせて作った自然のカーテンは、夏の強い日差しを和らげて、室温上昇を抑える効果があります。本イベントは、地球温暖化防止もできる上に、美味しいゴーヤを味わうことができるとあって、毎年人気があります。

真夏には、苗が成長して、きれいなカーテンを各家庭で作りました。今後も、小さなことでも地球温暖化防止に役立つという意識を、町として推進していきたいと考えています。

【問合せ先】日の出町 生活安全安心課 TEL:042-597-0511



多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計)を発行しました

当調査会では毎年度、多摩地域30市町村のごみ処理の実績をまとめ、「多摩地域ごみ実態調査」として発行しています。このたび、平成28年度の統計ができあがりましてので、概要をご紹介します。

「多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計)」の報告書は、当調査会のホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)からダウンロードすることができます。

- ・「多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計)」 全54ページ
- ・「多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計 概要版)」全18ページ

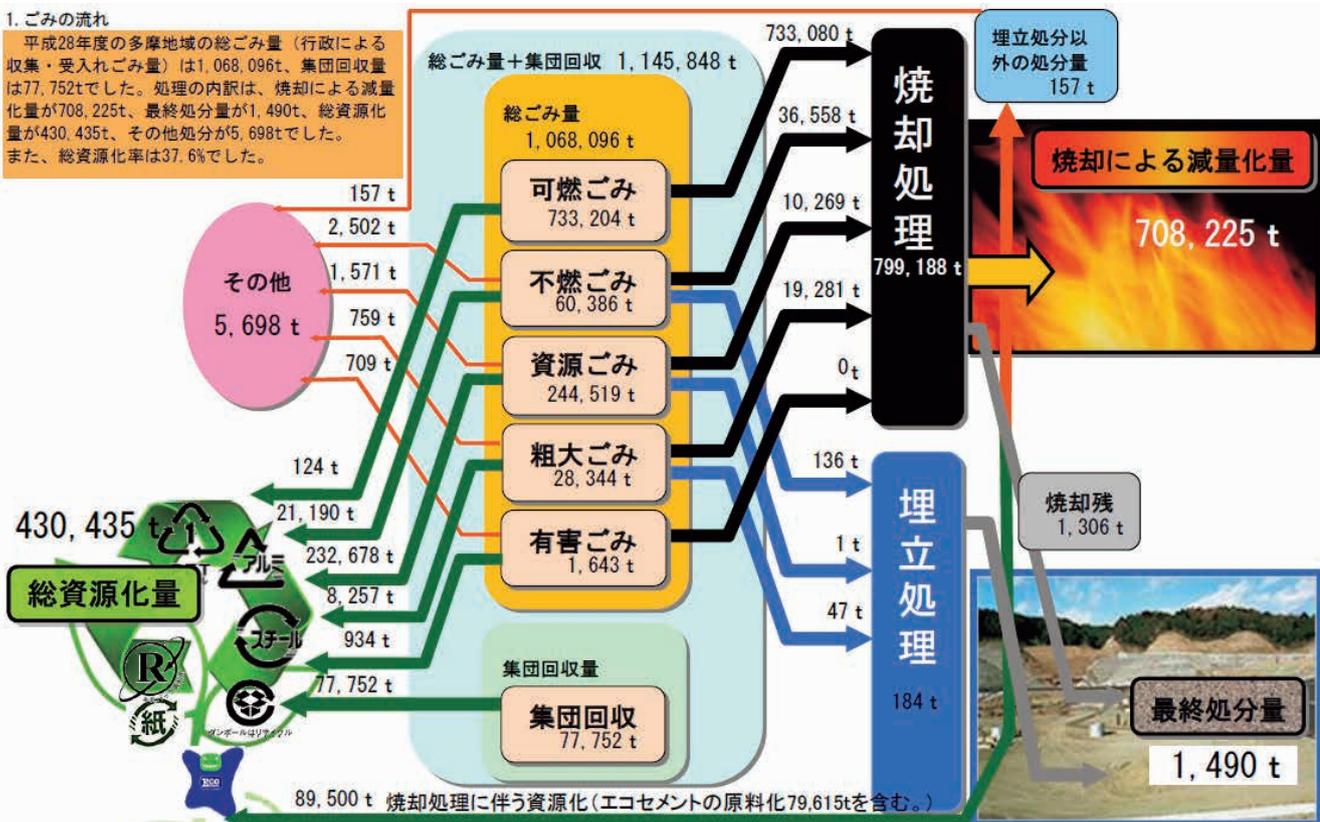
なお、以前の報告書(平成18年度～平成27年度統計)についても、ダウンロードすることができます。ぜひご利用ください。



▶ 平成28年度 多摩地域30市町村のごみ処理の実績

1. ごみの流れ

平成28年度の多摩地域の総ごみ量(行政による収集・受入れごみ量)は1,068,096t、集団回収量は77,752tでした。処理の内訳は、焼却による減量化量が708,225t、最終処分量が1,490t、総資源化量が430,435t、その他処分量が5,698tでした。また、総資源化率は37.6%でした。



※ 数値データは、その算出に当たり、小数点以下を四捨五入しているため、各内訳数値の合計とその合計欄の数値が一致しない場合があります。

総ごみ量

平成28年度の総ごみ量(家庭ごみ及び事業系ごみ)は1,068,096tとなり、前年度に比べて2.0%減少しました。主な内訳を見ると、収集ごみ量(主に家庭ごみの量)は903,260tで前年度に比べて1.3%減少し、持込ごみ量(主に事業系ごみの量)は164,836tで前年度に比べて5.7%減少しました。

1人1日あたりのごみ量

1人1日当たりのごみ量(集団回収[※]量を含む)は747gとなり、前年度に比べて2.4%減少しました。

※町会・自治会等の地域の団体が、紙類やびん等の資源物を回収し、直接回収業者に引き渡す自主的な資源回収

ごみの資源化

平成28年度の総資源化率(リサイクル率)は37.6%で前年度に比べて0.1ポイント増加し、ごみ資源化率は33.0%で前年度に比べて0.1ポイント増加しました。

◆ ごみの資源化の状況を示す総資源化率(リサイクル率)とごみ資源化率は、次の計算式で求めています。

$$\text{総資源化率(リサイクル率)} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量}^{(\ast 1)} + \text{収集後資源化量}^{(\ast 2)} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$$

$$\text{ごみ資源化率} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量}}{\text{総ごみ量}}$$

※1 分別収集や拠点回収を行った資源ごみ(缶、びん、ペットボトル等)の量

※2 中間処理施設において、不燃ごみや粗大ごみ等から選別された資源物の量とエコセメントの原料に使用した焼却灰の量

最終処分量

最終処分量は1,490tとなり、前年度に比べて15.7%減少しました。

内訳を見ると、焼却処理施設からの焼却残灰が1,306tで前年度に比べて3.3%減少、埋立処理された不燃残さ(不燃ごみ等を破碎選別したもの)が184tで前年度に比べて55.8%減少しました。

※1 平成29年8月に発行した冊子の内容に修正の必要が生じました。今月以降に、修正後の冊子を発行する予定です。なお、本記事は修正後の内容を反映しております。(平成29年9月末現在)

※2 ホームページへの掲載は、今月以降を予定しています。

笑いが止まらない2つのジャンボ!

2つのジャンボ同時発売

5億円

5 ハロウィンジャンボミニ 千万円

10月11日(水) 発売 売り切れしだい発売終了!

●1等前後賞合わせて5億円(1等3億円/前後賞各1億円) 発売期間:10月11日(水)~10月31日(火)

●1等前後賞合わせて5千万円(1等3千万円/前後賞各1千万円) 抽せん日:11月9日(木)

各1枚300円

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

2017年新市町村振興宝くじ

～活動支援制度を活用して 広域的な市民活動を始めてみませんか?～

平成
29年度

広域的市民ネットワーク活動支援制度

申請団体募集中!!

当調査会では、多摩地域を先導するまちづくり運動として、市町村のワクを越えて行われる市民活動がより拡大し、充実したものとなるために支援をしています。

現在、市民活動はさまざまな分野・テーマに及んでいます。特に子育て・高齢者・障害者支援、防犯・防災活動などは、より市民の力が必要とされています。

日頃の皆さんの広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとつづくり、まちづくりへとつなげていきます。

活動支援制度とは?



(1) 対象

- 市民活動を一つの市町村だけではなく、複数の市町村で行う活動として、新たに広域的な市民ネットワークをつくってみたい、もっと拡充したいとお考えの市民団体

(2) 助成率及び金額等

- 助成対象事業費の60% (30万円が限度)
- 助成期間は、連続する3年度の間で2回まで (ただし、1年度間で1回の支援が限度)

申請の主な要件は?

(1) 支援の対象となる団体の主な要件

- 多摩地域で広域的な市民活動をしてみたい、または、拡充したいとの意向のある団体で、支援の必要があると認められること。(※既に自立的な活動を継続して行っている団体、当調査会の助成制度・支援制度を受けた団体は対象外です。)
- 本拠地が多摩地域内にある。活動区域が多摩地域内複数自治体内である(志向している)こと。

(2) 支援対象となる主な活動(事業)要件

- 多摩地域のまちづくりにおける広域的な課題を活動テーマとしていること。
- 多摩地域全体の市民を対象とした活動(事業)であること。
- 市民団体が主体的、創造的に取り組む活動(事業)であること。

※その他にも申請に当たっての要件がありますので、下記の方法で制度の詳細をご確認ください。

制度の詳細は、多摩交流センターにて配布している「平成29年度広域的市民ネットワーク活動支援制度【活動支援】の手引き」、または、当調査会のホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) をご覧ください。「手引き」はホームページ内でダウンロードすることもできます。

申請に当たっては、随時相談を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。(事業実施の2カ月前までにご連絡ください。)

※この制度は、当調査会の平成29年度予算の範囲内での実施になります。

※既に自立的な活動を継続して行っている団体が対象の「平成30年度事業助成」制度は、11月頃に説明会を行う予定です。

問合せ先

公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課
東京都府中市新町2-77-1 TEL: 042-382-7781

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

ひのはらの魅力発見! 払沢周辺クイズチャレンジ!!

- 日時** 平成29年10月～平成30年1月(クイズチャレンジは12月20日(水)まで)
- 場所** 西多摩郡檜原村 払沢の滝周辺
- 内容** 地域の情報をより多くの人に知ってもらうために、平成29年10月1日(日)～12月20日(水)の期間でクイズチャレンジを開催します。
クイズは、「知ってほしいなクイズ」(10問)と「知ってたらすごいクイズ」(8問)に分かれており、「知ってたらすごいクイズ」は期間中に払沢の滝入口バス停や周辺店舗に掲示されるので、探してみてください。
正解数に応じて後日払沢の滝周辺で使える割引券をお送りします。なお、解答発表は平成30年1月以降に行います。
- 主催** ひのはら魅力発見隊
- 問合せ** NPO法人フジの森内 ひのはら魅力発見隊事務局
担当 佐藤
TEL:042-598-6928



山のふるさと村音楽祭 in OKUTAMA

- 日時** 10月15日(日)10:15～15:00
- 場所** 東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村(奥多摩駅から山のふるさと村へ無料貸し切りバス運行)
- 内容** 豊かな自然の中で、伝統芸能の演奏や奥多摩中学校吹奏楽部の演奏、国内外で活躍する声楽家によるポピュラーコンサート、本格的で楽しいジャズコンサート、音楽の都ウィーンで活躍する本場のウィーンアンサンブルといった様々なジャンルの曲が演奏されます。また、スペインで磨き上げた本格的なフラメンコの上演とレクチャーもあり、子どもから大人まで楽しめる内容になっています。皆さんお誘い合わせてお越しください。
- 入場料・参加費** 無料
- 主催** 山のふるさと村音楽祭実行委員会
- 問合せ** 山のふるさと村音楽祭実行委員会事務局(観光産業課内)
TEL:0428-83-2295 FAX:0428-83-2344
Email:kankou@town.okutama.tokyo.jp
ホームページ:http://www.town.okutama.tokyo.jp/



車いすの人と高尾山に登ろう

- 日時** 10月28日(土)9:00 京王線「高尾山口」駅前集合～16:00 解散予定
- 場所** 高尾山1号路～高尾山頂(往復)※車いすの人と介助者はケーブルカーで下山
- 内容** 車いすの人は10月2日(月)参加募集開始後、先着順になりますのでご理解下さい。
山の専門家がロープ等を用意してご指導下さいます。山頂での昼食になめこ汁をお楽しみに! 雨天及び登山道等悪条件の場合は中止とします。
なお、一昨年は車いす5名・介助歩行3名の方と、学生・社会人・教員等ボランティア50名、スタッフや家族、総勢95名が秋の高尾登山を楽しみました。ホームページをご参観下さい。
- 参加費** 1人500円(保険料、なめこ汁材料費等)、弁当・飲物各自持参、車いすの方は障害者手帳とケーブルカー代(本人と介助者1名半額)
- 主催** NPO法人地球冒険学校準備会
- 申込み・問合せ** NPO法人地球冒険学校準備会事務局 FAX:042-646-0459
Email:bandana@js9.so-net.ne.jp ホームページ:http://www.chikyubouken.jp





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催

後援：武蔵野市教育委員会



10・11月開催予定の講座案内

164回

題名

9・11あの日あの時のこと そして日本人として思ったこと

日時 平成29年10月12日(木) 14:30から約1時間

講師 福永 佳津子 氏((一社)海外邦人安全協会理事、海外カウンセラー)

内容 世界を震撼させた「9・11」から今年で16年。混乱するNYに入り、悲劇を目の当たりにした自らの体験と、海外の地で事件に巻き込まれた邦人たちの混乱と絶望がどれほどのものだったか、日本人として感じたこみ上げる思いをお話します。



165回

題名 固有の瑕疵^{かし}について保険者はどこまで責任を負担するか

日時 平成29年11月9日(木) 14:30から約1時間 講師 松島 恵 氏(明治学院大学名誉教授、商学博士)

○受講料 無料(ただし資料代100円)

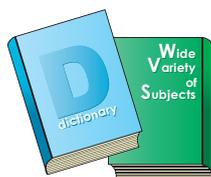
○メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)

○サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティーセンター(10月12日)、武蔵野市かたらいの道(11月9日)

○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成29年11月講義案内

(受講料: 会員は無料、会員でない方は11月9日を除き1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第1109回	11月2日(木) 14:00から	言葉によらないコミュニケーションについて ～文学テキストを中心に～	米山 益己 氏 (学院女子大学名誉教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1110回 ※	11月9日(木) 14:30から	固有の瑕疵 ^{かし} について 保険者はどこまで責任を負担するか	松島 恵 氏 (明治学院大学名誉教授、商学博士)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1111回	11月16日(木) 14:00から	歴史に向き合うことは	岡田 孝子 氏 (NPO法人女性文化研究所代表理事)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1112回	11月23日(木・祝) 14:00から	萱の原・雑木林から探る武蔵野	椎名 豊勝 氏 (一社)日本樹木医会会長	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1110回は、第165回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第111回

多摩地区の『江戸名所図会』を歩く
=江戸と平成の今昔=

【講師】 神谷 政明 氏

かみや まさあき

イベント関係の会社で、舞台や展示、区や市の催し物や式典等の会場設営の仕事をし、趣味で街道を歩いていました。定年後『江戸名所図会』を歩き、現在は「歴史の道を歩く会」の会員となっています。

【内容】 『江戸名所図会』は天保7年（1836年）に出版された江戸の絵入りの地誌・案内書です。全部で目次の項目が1040ヶ所あり、その内絵がある所は670ヶ所程ですが、私は絵のある所と文章だけの所も含めて全て歩いて写真を撮り、アルバム18冊にまとめました。

著者は神田雉子町（司町）の名主の斉藤親子3代で、30数年かけて編纂し、絵は江戸の生まれの絵師・長谷川雪旦が描きました。この本はこの人の絵があることで資料的価値が高いとされています。

今回はその内の多摩地区の12～13枚を選んでご紹介いたします。



日時 平成29年10月22日(日) 14:00～16:00
場所 多摩交流センター会議室
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階
(府中市寿町1-5-1)
申込方法 当日会場にお越しください。
先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

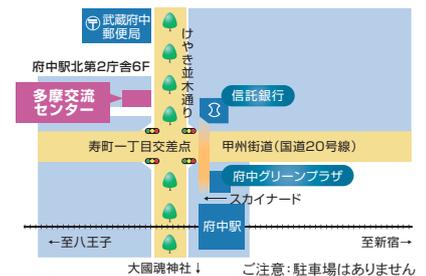
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 10月に入りました。10月は旧暦では神無月(かんなづき)と呼ばれています。

神無月の語源については諸説ありますが、その一つに、「全国の八百万(やおよろず)の神々が年に一回、出雲大社(島根県)に話し合いに集まるため、他の土地では神様が留守になるので神無月と呼ばれるようになった」という説があります。

出雲大社は、日本神話で有名な大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)をお祀りしている神社で、府中市にある大國魂神社(おおくにたまじんじゃ)のご祭神と同じだとされています。

大國魂神社では、毎月お祭りが行われており、同神社のホームページによれば、5月の「くらやみ祭」のような大きなものから、毎日行われる「御日供祭(神様に食事を差し上げる祭)」を含めると、年間のお祭りは400近いとのこと。

- この大國魂神社と京王線府中駅をはさんで反対方向の駅の北側には、当調査会の「多摩交流センター」があります。

多摩交流センターは、平成6年7月に、多摩地域の広域的市民活動を支援する拠点として当調査会内に開設されました。

開設から24年目に入り、多摩地域の市町村のワクを越えて行われる市民活動がより拡大、充実したものとなるよう、支援を行って

きているところです。

活動や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークの拡充や相互交流を促進する「広域的市民ネットワーク活動等事業助成」、新たに市民活動を始めようとする場合などに事業経費の一部を助成する「広域的市民ネットワーク活動支援」(本誌6ページ参照)など、同センターが直接実施する事業のほか、市民団体との共催等による事業(共催等事業)も実施しています。

- 共催等事業としては、10月に「TAMA市民塾」が開講します。歴史、外国語、書道、水彩画、健康、音楽など様々な講座が行われています(本誌No.45(2017年6月1日発行)P.10～11参照)。10月開講分の申込期間は過ぎてしまいましたが、来年4月開講分の申込みは本年12月に行いますので、興味・関心のある方はぜひお申し込みください。

また、毎月第2木曜日には、「多摩発・遠隔生涯学習講座」として、インターネットを通じて多彩な情報を発信しています。どなたでも無料で受講できます(本誌8ページ参照)。

- 多くの方々・団体に、多摩交流センターの事業を利用いただけることを期待しております。詳しくは、多摩交流センター又は当調査会事業部企画課にお尋ねください。(SK)



とっておきスポット

第37回 あきる野市

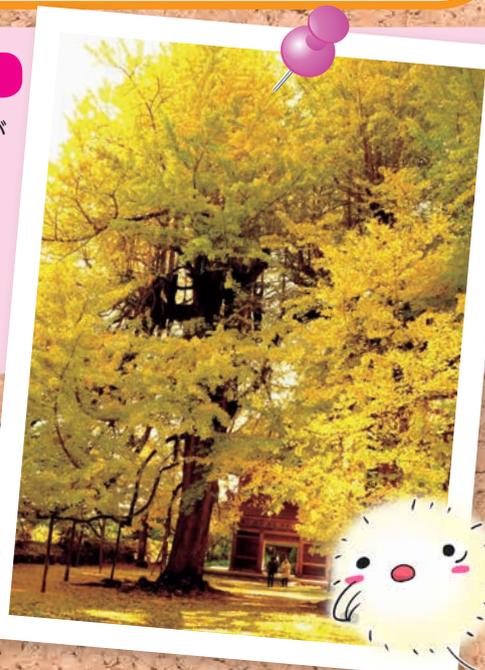
“ココ”
ご存じ
ですか?

あきる野市といえば、あきる野三大まつりを連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが紅葉とBBQスポットを紹介するよ。

広徳寺

秋といえば、やはり紅葉だね。秋川渓谷には、多くの紅葉狩りスポットがあるんだ。その中でも大人気のスポットが、表紙の「石舟橋」、そして「広徳寺の大銀杏」なんだよ。

広徳寺境内には2本の大銀杏がそびえていて、足元には銀杏の落ち葉が黄金の絨毯のように広がってるんだ。まるで黄金に身を包まれているかのような景色は圧巻だよ。



秋川橋河川公園

バーベキューといえば、「夏」をイメージするかもしれないけど、秋川渓谷のバーベキューは「秋」がオススメだよ。秋川の清流を眺めながら、のんびりと過ごすことができるんだ。

秋川渓谷で育ったブランド牛「秋川牛」をプラスすれば、ワンランク上のバーベキューになるよね。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみて!

[現地案内]

- ◆秋川橋河川公園
JR五日市線「武蔵五日市」下車、徒歩約5分
- ◆広徳寺
JR五日市線「武蔵五日市」下車、徒歩約30分
- ◆石舟橋(表紙掲載)
JR五日市線「武蔵五日市」から西東京バス「上養沢」「数馬」「藤倉」行き、十里木バス停下車、徒歩すぐ



[情報・写真提供] あきる野市環境経済部観光まちづくり推進課 TEL 042-558-1111 (代表)

